

一、今回、解雇工ノ要求ヲ容ル、標幟既ス

二、共ニ、全議ノ三、五協定全部、決定スル迄ハ、致工ヲ

解ニ履セザルニト

三、若シ全議ノ決定ハ、方ニ解ニ履スル協定ハ、今回日協

ノ手前ヲ支然スルニト

二十八日午前十時、津誠首發工側委員大熊正二郎外四名ハ  
全社ヲ訪問シ、實業部長、造船部長及山口守衛長ト會  
見シ、一時百ニ及リ、誠首發工ノ生活困難ノ状況ヲ具陳シ  
手前増給方ヲ囑託スル所アリタルニ、今、社ノ現状ハ、此上ノ  
手前ヲ支然スル餘地ナリト、作選、遺憾要求ヲ容レシ難シトテ、依  
然拒絶セリ且、宣傳部委員等ハ、朝奉全社ニ見放セリ

戒諭中、トハ前報ノ計畫、匪解ニ帰セリ

組合事務所ニ引揚ケタル委員等ハ、幹部ト協議上ニ、特殊  
健一外五名ヲシテ、日本労働総同盟ニ、松岡駒吉ヲ訪問セシムルニ  
ト、レ彼等ハ午後上京セリ

此日、致工出勤數三、八九名アリ、別ニ動搖ノ色ナキニ、會社ハ  
近ク又淘汰ヲ施行スルヤ、ト説傳ハレルヨリ、一般致工ニ、社ニ安心  
ヲ與ヘ、罷リノ要アリトシ、午後三時、致工本大目ニ、九ノ場、示ヲセリ

先般、造船界不振ノタメ、諸君ノ一部解雇

致シ、爰者引續キ淘汰タルト説、此者存之也

一、共全社ニ於テハ、其考査ニ、金ヲ事實ニ根

存斯ル風説、惑ハレズ、堅ク社則ヲ守リ一意